

全国高等学校少林寺拳法大会

2016年7月29日（金）～31日（日）の3日間、「平成28年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会・第43回全国高等学校少林寺拳法大会」が大会愛称「2016 情熱疾走 中国総体」、スローガン「美しく咲け 君の笑顔と努力の華」として岡山県美作市宮本武蔵頭彰武蔵武道館にて開催され、全国^{みま}都道府県から194校、男子383名、女子349名、計732名が参加した。今大会では、沖縄県からの参加も見られたことが印象的であった。また、7月^{きか}28日（木）に岡山市ジップアリーナで開催された「平成^{きか}28年度全国高等学校総合体育大会総合開会式」の種目として、皇太子殿下臨席の下各都道府県代表として入場行進を行った。

7月^{きか}28日、大会初日、岡山県高体連少林寺拳法専門部安田智幸委員長の開会宣言がなされたのち、各都道府県選手の入場、全国高体連少林寺拳法専門部五十嵐善一郎部長の挨拶、一般財団法人少林寺拳法連盟川島一浩会長、少林寺拳法グループ宗由貴総裁の挨拶が行われたほか、萩原誠司美作市長より開催地歓迎の言葉、岡山県立林野高等学校生徒会長藤森諒君より歓迎の言葉を頂いた。また、開会式の最後には出場選手を代表して岡山工業高等学校の久保修熙選手・井川友紀菜選手の2名による選手宣誓が行われた。開会式ののち、男女単独演武予選、男女組演武予選Ⅰ、男女団体演武予選が行われ、日頃の修練の成果を十分に発揮した。

7月^{きか}29日（土）は男女単独演武、男女団体演武の準決勝、男女組演武予選Ⅱが行われた。組演武の予選Ⅱは、防具着用で規定演武を行うもので、技について基本どおりに攻防ができているかなどを審査した。

7月^{きか}30日（日）、最終日は各種目の決勝が行われた。どの演武も気迫に満ちたすばらしいものばかりで、会場内には応援の声とともに大きな拍手が送られ、会場中が一体となって出場者の健闘を^{たか}称えていた。また、モニターに点数が表示されるたびに、会場中から感嘆の声が上がり、盛り上がりを見せた。その後の閉会式では、成績発表と表彰、開催県専門部の金光道晴部長挨拶、次回開催県の宮城県高体連少林寺拳法専門部小島美貴委員長のアピール、安田委員長の閉会宣言をもって3日間にわたる大会の全日程が盛会のうちに終了した。







